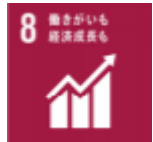




3 すべての人に  
健康と福祉を



8 働きがいも  
経済成長も



11 住み続けられる  
まちづくりを

令和3年度 愛知県認知症対策研究・支援事業  
認知症初期集中支援チームの活動強化に係る研修会

# 豊田市認知症初期集中支援チーム活動実践報告 ～認知症地域支援推進員との連携～

豊田市社会福祉協議会  
基幹包括支援センター  
認知症初期集中支援チーム  
石黒 富美子



豊田市  
初期集中支援チーム

# 豊田市の基礎情報



R3.8.1現在

人口	420,651人
高齢化率	23.74%
要介護認定率	15.28%
<b>認知症初期集中支援チーム（専任）</b>	<b>1か所</b>
地域包括支援センター（委託）	地域型28か所＋ 基幹型1か所
認知症地域支援推進員	30か所
認知症疾患医療センター（地域型）	1か所
認知症サポート医（医療圏域・市内）	18名・15名
認知症カフェ	20か所
若年性認知症本人・家族会（スマイル）	1か所
家族会	1か所+包括主催



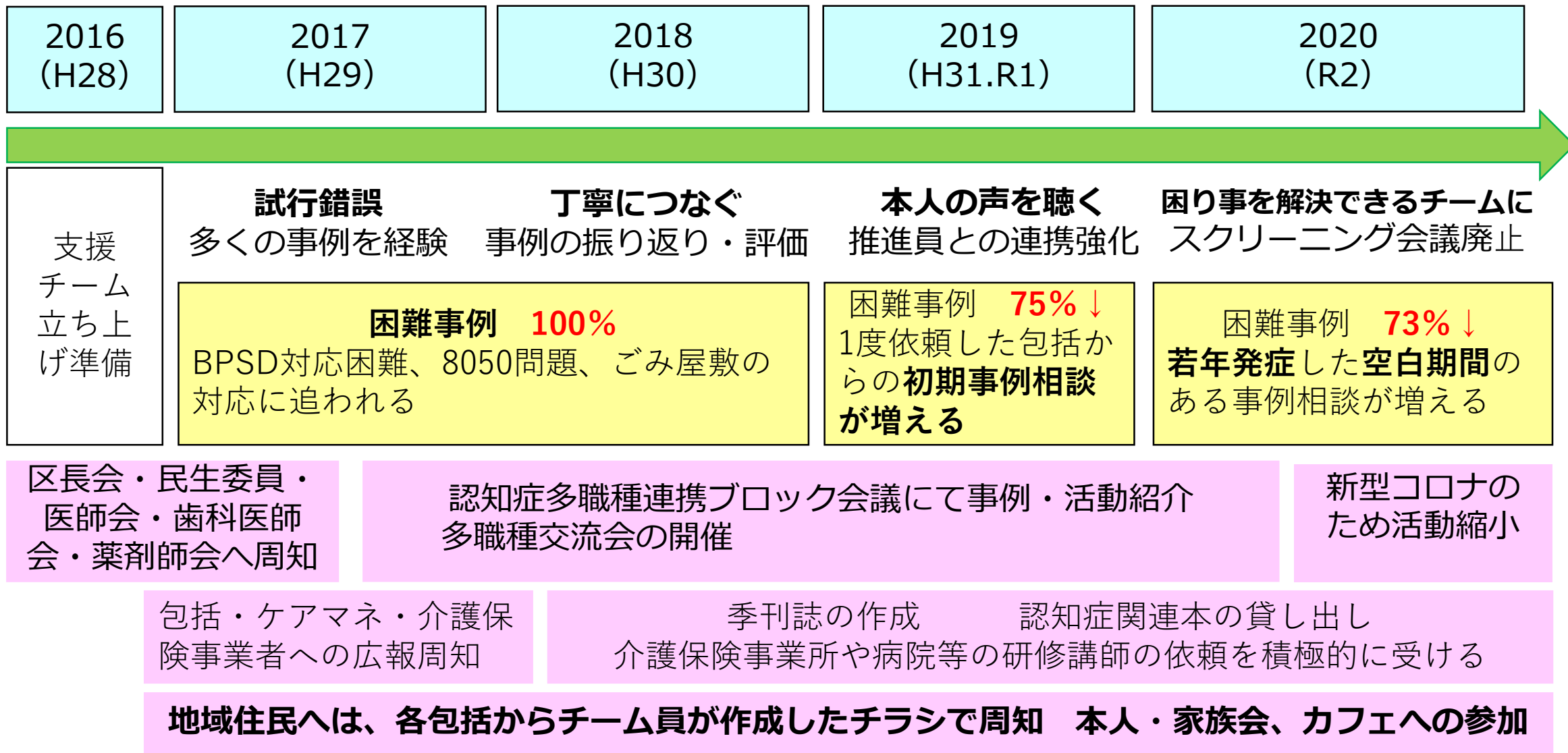
- 日常生活圏域：8か所
  - ・車で30分以内
  - ・1圏域 2～6中学校区
- 生活支援コーディネーター
  - ・社協（市内11か所）
- 成年後見支援センター
  - ・1か所
  - （中核機関：市＋社協）



# 豊田市認知症初期集中支援チームの設置状況

配置先	豊田市社会福祉協議会 基幹包括支援センター
チーム数・チーム員数	1チーム（専任）・3名（看護師1名・社会福祉士2名）
チーム員会議の開催数	年22回（1回あたり1.5時間）
チーム員会議の参加職種（常時参加）	医師・看護師・社会福祉士・保健師（事務局）
チーム員会議の参加職種（随時参加）	認知症地域支援推進員（包括）・介護支援専門員・社協CSW・成年後見支援センター・若年性認知症支援コーディネーター等
検討委員会・個別支援振り返り会	年2回・年2回
令和2年度の対象者数	67名
令和2年度訪問数（延べ）	752回
令和2年度平均訪問回数	10.3回
令和2年度終了者数	46名
令和2年度平均初動日数・平均支援日数	15.5日・131日（最長482日）

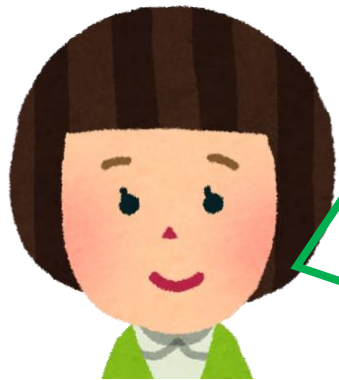
# 豊田市の認知症初期集中支援チームの歩み



# 3年目 初期事例相談が増えてきた・・・

認知症地域支援推進員と

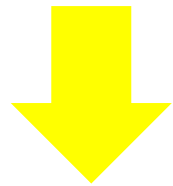
どう連携していくといいかな～



# 初期集中支援チームが求められている役割

医療につなぐ・介護チームにつなぐ

活動して見えてきたこと



当事者の暮らしの困り事  
地域の現状

地域課題

# 推進員：方向性と役割を確認しながら、これからをよりよく

## ひとりひとりが、地域の中で希望をもって、よりよく暮らして行く

自立

見守られながら自立

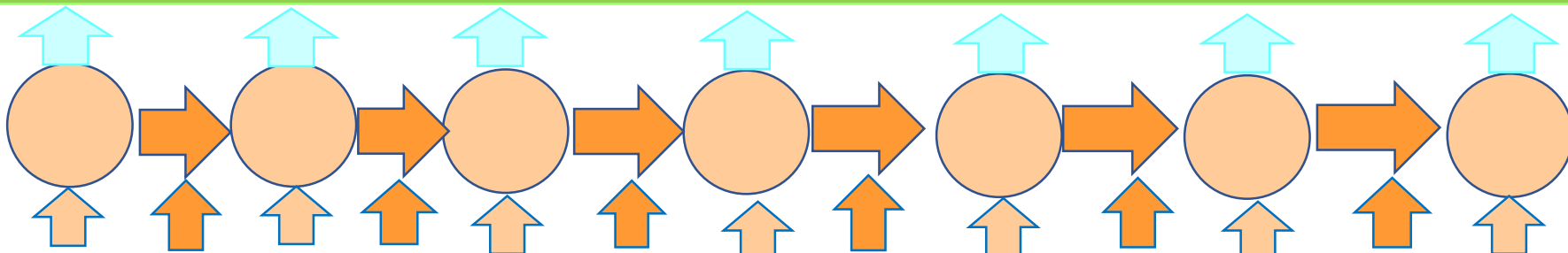
部分的な支援を受けながら生活

全面的な支援を受けながら生活

ゴール

本人が生きていく  
家族が生きていく

各時期に応じた  
相談⇒包括的な  
連携・支援体制



認知症地域  
支援推進員

よりよく暮らしていくための切れ目のない地域の連携・支援体制  
※関係者の対応力向上

※各種事業や資源を活かしつなぎながら、本人がよりよく暮らしていくための支援体制・対応力を一步一步拡充していく

市町村の事業等

認知症ケアパス作成・普及・活用（改良）

初期集中支援チーム

認知症カフェ・サポーター養成講座

見守り・SOSネットワーク

生活を支える医療・介護・権利擁護等、多様な人材の育成

ほか

認知症関連以外の地域の多様な事業、取組、資源

# 3年目のある日・・・出口支援について話合い

介護サービス利用の必要ないケースの時、認知症カフェや地域サロン、趣味の会、傾聴ボランティアにしかつないでなかったね。

それって、本当に**本人の望んでいたことだった**のかな。

今、初期集中支援チームが社会資源につないでいるよね。  
社会資源につなぐのって推進員の役割なんじゃない？

**初期集中支援チームの支援が長期化**していること、課題だよね。

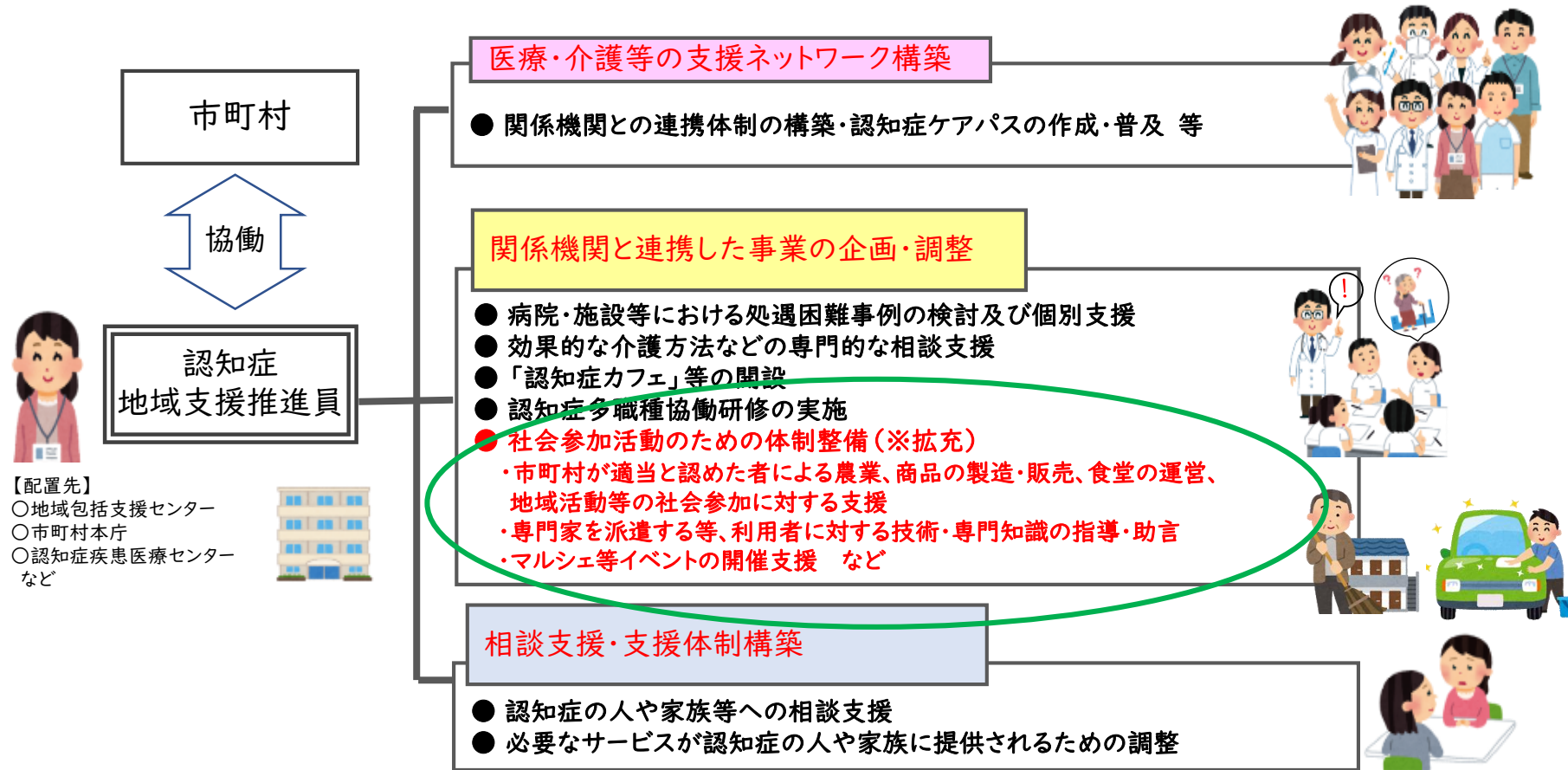
**社会参加活動のための体制整備、  
認知症地域支援推進員に位置付けられた**よね。





# 互助を育む | 社会参加活動や認知症予防のための体制整備

認知症を有する人をはじめとする高齢者の中には、これまでの経験等を生かして活躍したいとの声が少なくない。地域において「生きがい」をもった生活や認知症予防等の介護予防に資するよう、認知症地域支援推進員の取組として、令和元年度予算において社会参加活動のための体制整備を地域支援事業に位置付け、その取組を支援。





# 改善案

**本人の声を推進員の人に、直接聴いてもらいたいね・・・**

生活支援コーディネーター機能が社協に移管したけど、包括によっては、CSWやボランティアセンターがどんなことをしているか、どんな人とつながっているか、知らないかもね。

本人からの**声をキャッチ**したら、  
**早めに推進員に声をかけて支援のバトンを渡そう！**

**役割を明確にすることで、私たちの支援も早く終われるね。**



- 78歳女性 夫との2人暮らし
- もの盗られ妄想の対応に家族が疲弊

本人の声

- 受診拒否
- デイサービス利用調整  
(夫と共に利用)

野菜や果物を育てるのが得意  
誰かもらってくれないかな。

ケアマネ・推進員・社協CSW・ボランティアセンター  
初期集中で作戦会議！！

利用しているデイサービスの法人が、定期的にマルシェイベント開催。  
職員から「野菜や果物を販売してみませんか・・・」

- 78歳男性 妻との2人暮らし
- 「認知症に仕立て上げられた！」 / 幻視・妄想

本人の声

- 再診断
- 介護サービス利用
- 家族支援

一緒に将棋をやってくれる人を  
紹介して欲しい！

推進員にボランティアセンター職員を紹介。  
将棋仲間につないでいただくようにバトンを渡す。

初期：医療サービス・介護サービスにつないで支援終了

推進員：ケアマネやボランティアセンターと連携して将棋仲間につなぐ

- 68歳女性 夫との2人暮らし
- 診断後の空白期間

- 73歳女性 夫との2人暮らし
- 診断後の空白期間

- BPSD対応困難のため入院治療

推進員の声

男性介護者は、介護を抱える傾向がある  
チームを紹介してもなかなか「依頼したい」と言ってもらえなかった

メンズカフェの開催  
「男性介護者の本音を聴こう！」⇒今後の推進員の役割を考える

# 4年目・・・若年性認知症の相談が増えてきた！

私たちにつながってくる若年性認知症の方は、退職された方や休職中の方が多いいね。

就労・社会参加支援重要だね。

本人や家族が交流できる居場所や就労継続支援B型につなぐだけでなく、**地域の人にもつながりたい**よね。この思い、認知症地域支援推進員や社協CSWとも共有したいね。

**早めに、認知症地域支援推進員や社協CSWに声をかけて  
動いて行こう！**



- 59歳男性 母・妻・長女との4人暮らし
- 就労問題

本人の声

- 認知症疾患医療センター受診
- 休職の決断
- 介護保険サービス
- 就労継続支援B型利用

畑仕事をしたい。  
花の手入れならできるよ。

本人・家族・高齢者クラブ・民生委員・  
ケアマネ・推進員・社協CSW・初期集中  
で地域ケア個別会議開催

自宅前の集会所の花壇の手入れを高齢者クラブがしていた。  
その場で高齢者クラブ会長が「家の前なんだから、何か手伝ってよ！」

# 認知症ケアパス

○認知症予防から人生の最終段階で、認知症の容態に応じ、相談先や、いつ、どのような医療・介護サービスを受ければいいのか、これからの流れをあらかじめ標準的に示したもの。

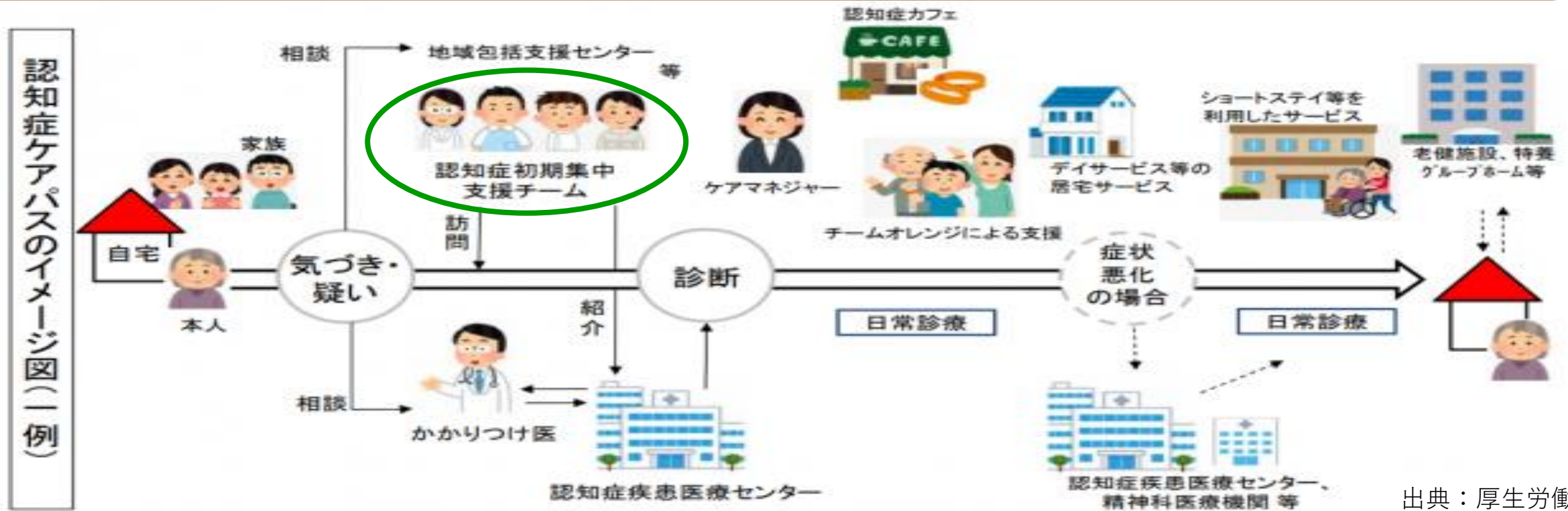
○市町村が地域の実情に合わせて作成し、住民や関係機関に広く周知することとしている。

※令和元年度実績：1488市町村（実施率85.5%）

～認知症施策推進大綱（抜粋）～

・地域の高齢者等の保健医療・介護に関する総合相談窓口である地域包括支援センター及び認知症疾患医療センターを含めた認知症に関する相談体制を地域ごとに整備し、ホームページ等を活用した窓口へのアクセス手段についても総合的に整備する。また、その際に、「認知症ケアパス」を積極的に活用し、認知症に関する基礎的な情報とともに、具体的な相談先や受診先の利用方法が明確に伝わるようにする。

【KPI/目標】市町村における「認知症ケアパス」作成率100%



出典：厚生労働省



## 事例 5

# 支援のバトンを渡したその後・・・ 容態に応じた本人支援・地域支援

- 65歳男性 認知症の母との2人暮らし
- 「バカ野郎！死ねばいい！」暴言に苦慮

本人の声

- かかりつけ医の変更
- 介護保険サービス
- 家族支援

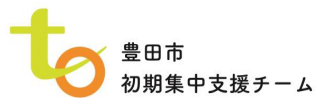
犬の散歩のついでに、近所のひとり暮らしのおばあさんのところ寄ってるんだ。

(引継ぎ時に話したこと)  
本人の得意なことや好きな事から社会参加支援車をやめたら移動販売車の誘致必要かも

車の運転を止めた連絡がきてから、移動販売車の誘致に成功しました！  
現在も推進員が、社会参加支援に取り組んでいます。



# 初期集中支援チームと認知症地域支援推進員の 効果的な連携のために行っていること・・・



## ① 認知症初期集中支援チームの活動内容を推進員に知ってもらう

- ・ 昨年度から、**チーム員会議に包括（推進員）も参加**  
**その場で役割分担を確認**
- ・ チーム員会議に参加している**担当以外の推進員から社会参加活動のための情報を得たりアイデアをもらう**
- ・ 包括（推進員）職員と同行訪問
- ・ 毎年、地域包括支援センター会議で活動状況報告
- ・ 季刊誌発行（年4回）
- ・ 認知症初期集中支援チーム検討委員会への参加
- ・ 個別支援振り返り会への参加

## ② 認知症地域支援推進員の役割を初期集中支援チームが知る

- ・ 市内で開催している認知症地域支援推進員研修に参加
- ・ 認知症検討委員会に参加

## ③ 価値の共有 ライフサポート研修、意思決定支援研修等

ご清聴ありがとうございました・・・

～人と人をつなぐ・暮らしをささえる・権利をまもる～

認知症になっても  
安心して暮らす  
第一歩。

